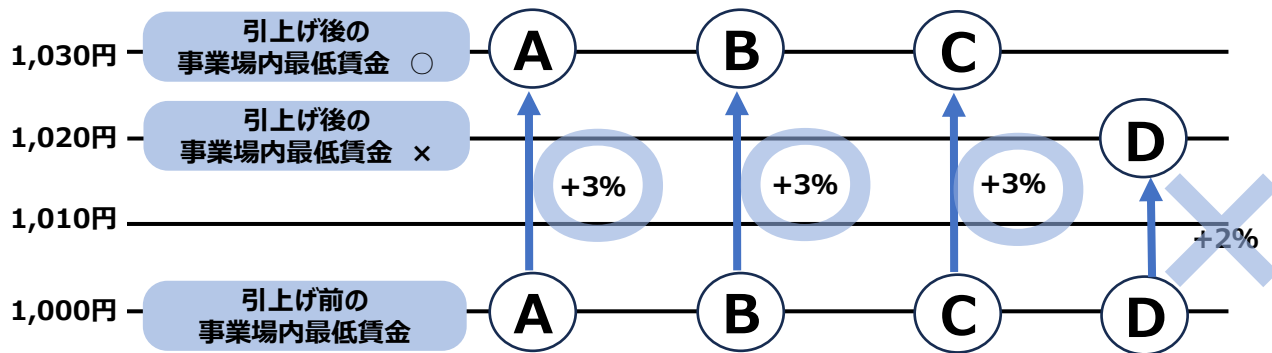


事業場内最低賃金の引上げ対象者の考え方

同一の事業場内最低賃金で従事する労働者が複数名いる場合

・同一の事業場内最低賃金で従事する労働者が複数いる場合には、その全ての労働者について、賃金を3%以上引き上げる必要があります。

・下記のケースでは、A B Cの3名については3%以上引き上げていますが、Dについては3%未満の引き上げのため、要件を満たしません。



事業場内最低賃金を引き上げた結果、賃金額を追い越される者がいる場合

・事業場内最低賃金を引き上げた結果、賃金額を追い越される者がいる場合には、その者についても引き上げ前の事業場内最低賃金額から3%以上引き上げる必要があります。

・下記のケースでは、引き上げ前の事業場内最低賃金額であるAの賃金額（1,000円）を4%引き上げた結果、B C Dが賃金額を追い越される者となります。

・この場合、Bは引き上げ前の事業場内最低賃金額（1,000円）を3%引き上げた賃金額（1,030円）以上の水準まで引き上げているため要件を満たします。

・一方で、Cは引き上げ前の事業場内最低賃金額（1,000円）を3%引き上げた賃金額（1,030円）未満の水準までの引き上げに留まっているため、要件を満たしません。

・なお、Dは当初より、引き上げ前の事業場内最低賃金額（1,000円）を3%引き上げた賃金額（1,030円）であるため、要件確認の対象とはなりません。

